

国際的な社会課題に対する 日本人の意識調査

2021年05月

一般社団法人日本グローバル化研究機構

Research Institute for Japan's Globalization (RIJAG)

株式会社原田武夫国際戦略情報研究所

Institute for International Strategy and Information Analysis, Inc. (IISIA)

調査概要

＜調査背景＞

国際連合（国連）によるUN75イニシアティブで実施された調査を我が国国民対象に特化して追調査する他、それに独自の質問項目を加えた調査の実施により我が国国民の自国および国際社会に対する意識傾向を明確化し、日本社会及び国際社会に対し、弊研究所として具体的な提言を行っていくため、その数値的根拠を得るため本調査を実施した。

【調査概要】

調査対象：全国の16～69歳男女

調査手法：インターネット調査

実施時期：2021年4月14日（水）～4月15日（木）

有効回答数：1000名（性別、年代別に人口構成比に準じて割付）

【サンプリングについて】

事前調査において「日本／世界の社会問題に関心がありますか」という問いに対し、「大いに関心がある」または「関心がある」と答えた回答者のみが本調査に参加した。

Key Findings

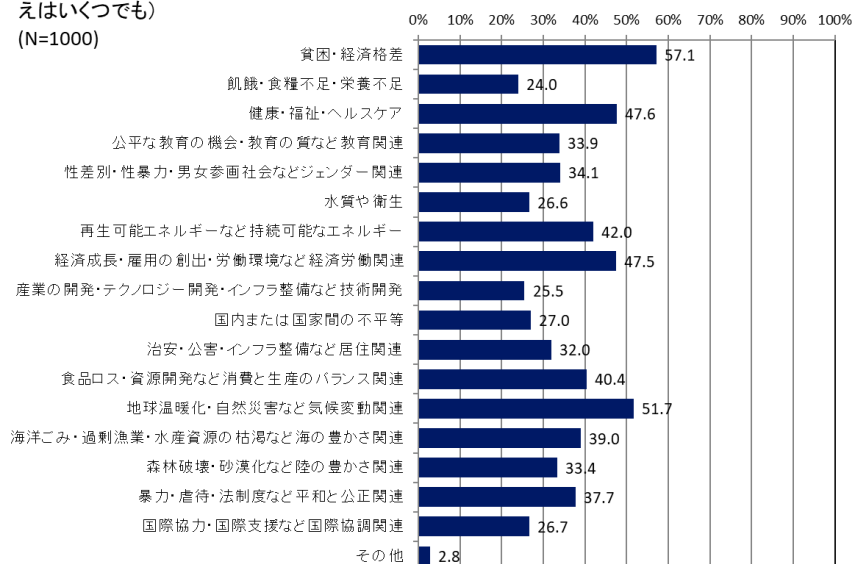
- **87.5%が 10年後の日本社会に不安 を感じている**
 - 10年後の日本社会に対して不安を感じるか、希望を持っているかという質問に対して、87.5%が不安を感じる、と回答した。
 - また、25年後の世界では人々は今より幸せでない、と回答した人が47%であった。
- **国連の認知度 は約**40%****
 - 国連についてどれくらい知っているかを聞いたところ、「活動内容を具体的によく知っている」「活動内容を多少なりとも/少しは知っている」と答えた人が39.9%、「名前を知っているが具体的な活動内容はわからない」「まったく知らない」と答えた人が60.1%という結果であった。
- **46.7%が 国連は国際問題にうまく対処できていない と回答**
 - 国連は、国際的な社会課題に対してうまく対処できていると思うかを聞いたところ、46.7%がそう思わないと回答した。
 - 一方で、「うまく対処できている」と回答したのは8.8%にとどまった。
- **80%が 海外との関係よりも日本国内の問題を重視すべき と回答**
 - 国際的な社会問題に対しては、世界各国が協調して一緒に対策に取り組むことがとても重要であるとの回答が85.8%であったものの、日本は諸外国とどのような国際関係を築くべきかという質問には80%が海外との関係よりも日本のことを重視すべきと回答した。
- **国連の組織改革 を望む声**
 - 国連に対しては、常任理事国への権力の偏り、大国の意見重視などといった問題点の指摘が見られ、国家を超えるグローバルな社会体制の構築、国連の組織改編を望む意見が集まった。

社会問題に対する意識（日本の社会問題）

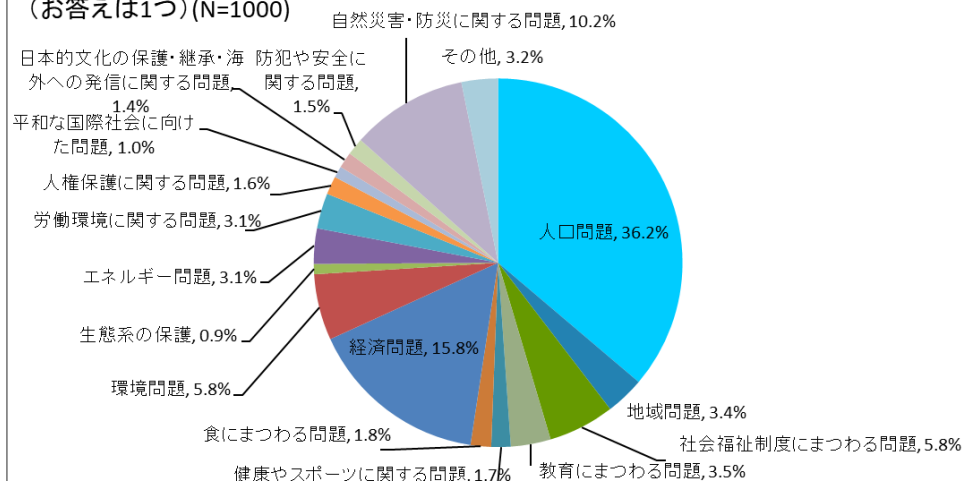
- 関心のある社会問題については、「貧困・経済格差に関する問題」の割合が最も高く、次いで「地球温暖化・自然災害など気候変動に関する問題」、「健康・福祉・ヘルスケアなどに関する問題」とつく。
- 2019年末以来の新型コロナウイルスの感染拡大に対する関心の高さから「健康・福祉・ヘルスケアなどに関する問題」が関心を集めている。
- 一番懸念している社会問題については、「人口問題（少子化・高齢化・人口減少など）」の割合が最も高く、次いで「経済問題（経済格差、税金問題、経済成長、子供の貧困など）」、「自然災害・防災に関する問題（地震などの災害への備え、南海トラフなど）」とつく。
- 「人口問題」、「自然災害・防災に関する問題」は日本社会の固有課題であると言える。

日本の社会問題に関心があると答えの方にお伺いします。あなたが関心のある日本の社会問題について、あてはまるものをすべてお答えください。（お答えはいくつでも）

(N=1000)



日本社会において、あなたが一番懸念している社会問題は何ですか。（お答えは1つ）(N=1000)

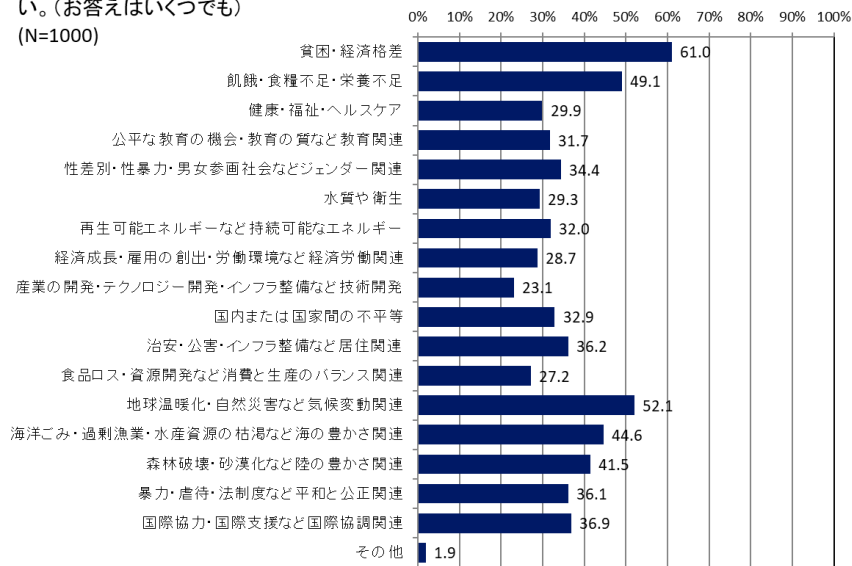


社会問題に対する意識（世界の社会問題）

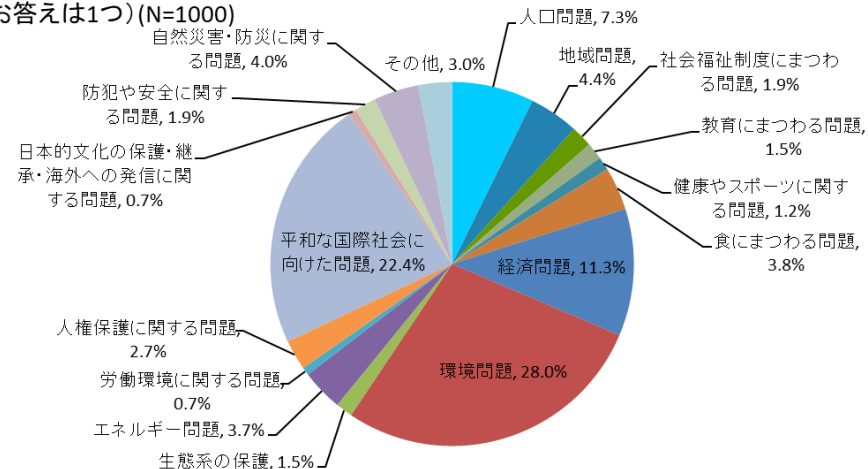
- 関心のある社会問題については、「貧困・経済格差に関する問題」の割合が最も高く、次いで「地球温暖化・自然災害など気候変動に関する問題」、「飢餓・食料不足・栄養不足に関する問題」とつづく。
- 「健康・福祉・ヘルスケアなどに関する問題」には関心が低く、「飢餓・食料不足・栄養不足に関する問題」が国際問題の“典型”と捉えられている風潮が伺える。
- 一番懸念している社会問題については、「環境問題（地球温暖化、大気汚染、海洋汚染、異常気象）」の割合が最も高く、次いで「平和な国際社会に向けた問題（代理戦争、紛争、安全保障関連、途上国支援など）」、「経済問題（経済格差、税金問題、経済成長、子供の貧困など）」とつづく。
- 「平和な国際社会に向けた問題（代理戦争、紛争、安全保障関連、途上国支援など）」は国際社会の固有課題と言える。

【SC4】世界の社会問題に関心があると答えの方にお伺いします。あなたが関心のある世界の社会問題について、あてはまるものをすべてお答えください。（お答えはいくつでも）

(N=1000)



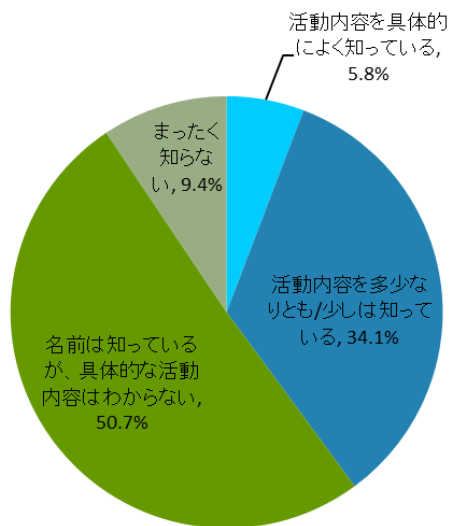
国際社会において、あなたが一番懸念している社会問題は何ですか。（お答えは1つ）(N=1000)



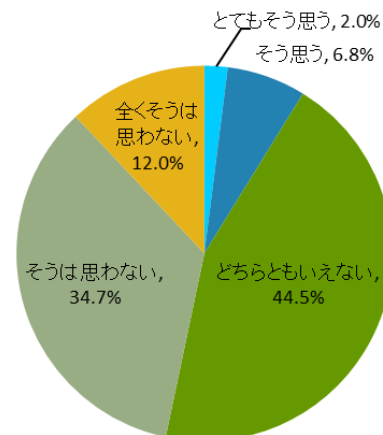
国際連合（国連）の認知と活動に対する評価

- 国連の活動認知状況について、活動内容まで認知している（「活動内容を具体的によく知っている」、「活動内容を多少なりとも知っている」）人は39.9%で、**約6割が国連の活動内容を知らない**と答えた。
- 「活動内容を具体的によく知っている」は20代に多かった。
- 国連の活動の評価に関しては、**46.7%が国連は国際的な社会課題に対してうまく対処できているとは思わない**と回答した。
- 他方、国連は国際的な社会課題に対してうまく対処できていると思う割合は8.8%にとどまった。

【Q1】あなたは国際連合の活動をどれくらい知っていますか。（お答えは1つ）
(N=1000)



【Q2】あなたは、今の国際連合は、国際的な社会課題に対してうまく対処できていると思いますか。（お答えは1つ）※国際連合の活動がわからないという方は、「国際社会全体が、国際的な社会課題にうまく対処できているかどうか」とお考えの上、お答えください。
(N=1000)

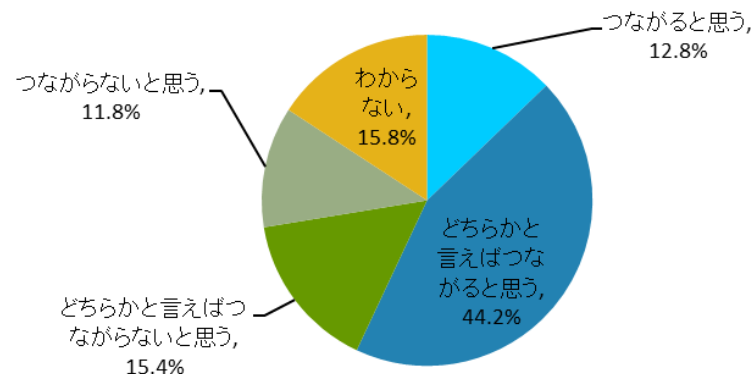


SDGsに対する評価

- 国連主導のSDGs（Sustainable Development Goals）という取り組みに対しては、**57.0%がSDGsは国際課題の解決につながると思うと回答した。**
- 男女とも10代と20代で「（SDGsは国際課題の解決に） につながると思う」の割合が高かった。SDGsの議論が始まり取り組みが開始された2015年前後から、教育現場でSDGs並びに国連の活動について取り上げられることが増えたことの影響で若年層の国連の認知、SDGsの評価が高まっている可能性が指摘できる。
- 他方、「つながらないと思う」の割合は50代および60代男性で高かった。（Appendix 1）
- 「「誰1人取り残さない」世界を目指すためには、どのような取り組みをするべきだと思うか」を聞いたところ、「**国境を取り払った世界制度の構築**」、「**ベーシックインカムの導入**」、「**子供の教育**」などの意見が挙げられた。

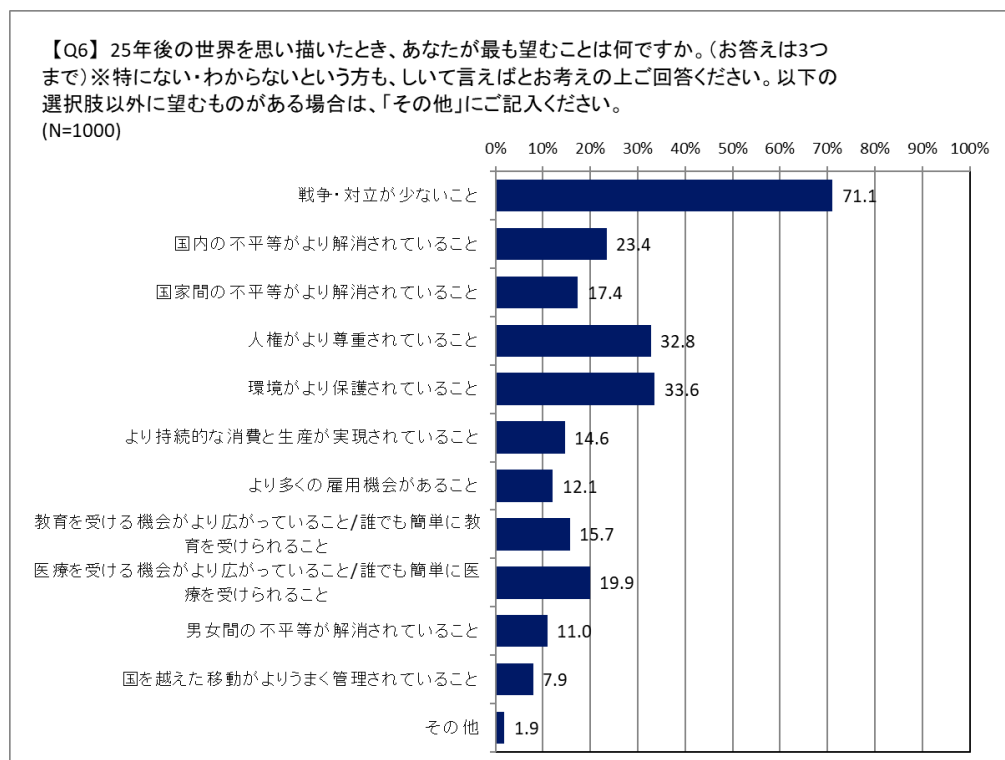
【Q4】あなたはSDGsの促進が国際課題の解決につながると思いますか。（お答えは1つ）※SDGsとは、「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称で、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。貧困や飢餓、健康や教育、ジェンダーの平等などをはじめとする、17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。

(N=1000)



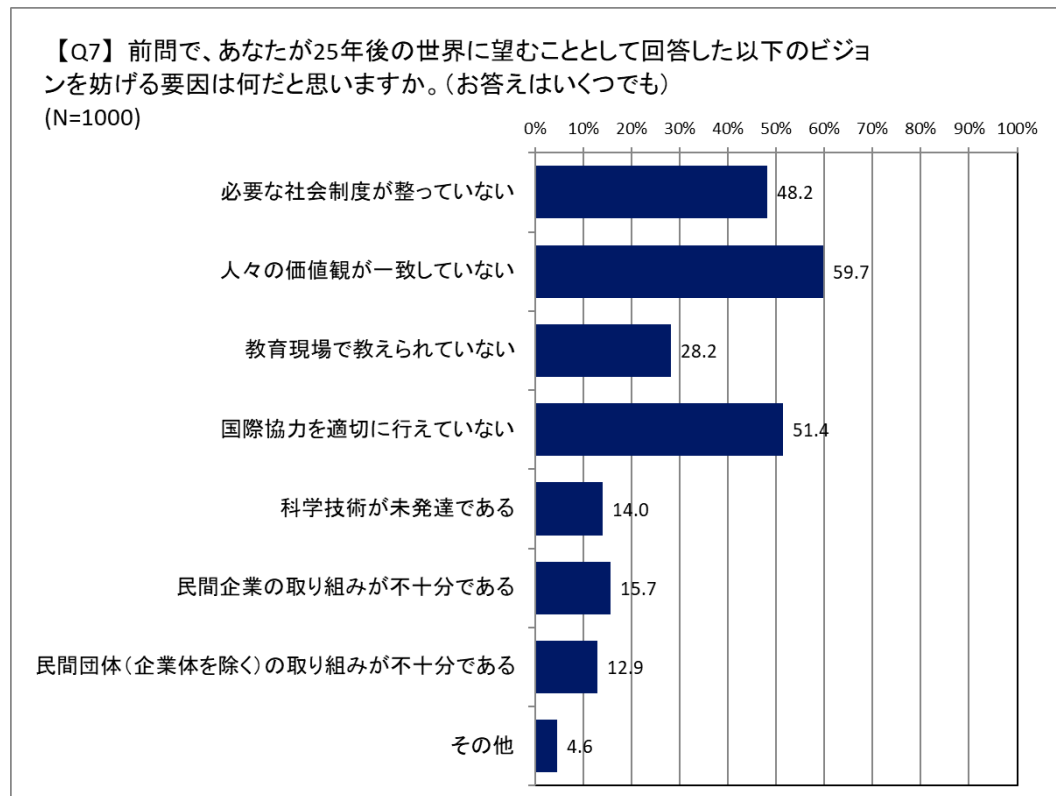
25年後の世界に最も望むこと - UN75イニシアティブ追調査

- 2020年に国連のUN75イニシアティブにより実施された、2045年の世界に向けた人々の意識調査をもとに、日本在住者に限定して同様の設問を問い、さらにUN75では定量的なデータが得られなかったいくつかの項目を追加した。
- 「25年後の世界に最も望むこと」については、「戦争・対立が少ないこと」(71.1%)が最も高く、次いで「環境がより保護されていること」(33.6%)、「人権がより尊重されていること」(32.8%)、「国内の不平等がより解消されていること」(23.4%)と続く。
- 男性年代別では、20代後半から30代前半は「国内の不平等がより解消されていること」の割合が全体よりも高い。
- 女性年代別では、10代後半から20代前半は「男女間の不平等が解消されていること」の割合が全体よりも高い。(Appendix 2)



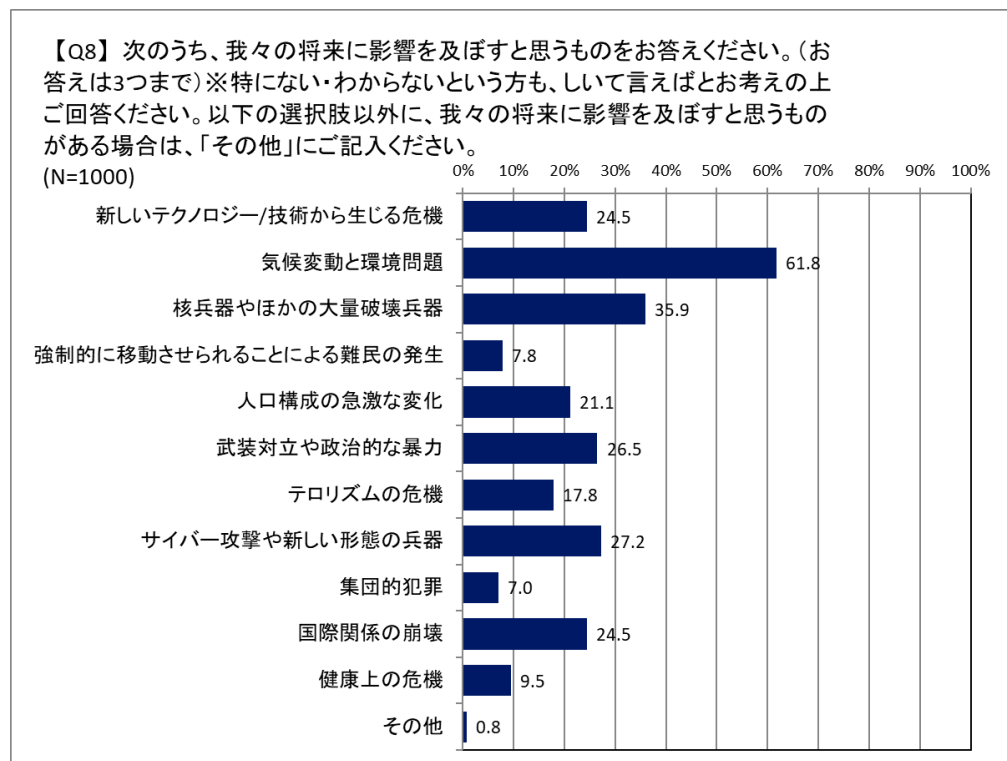
「25年後の世界に最も望むこと」を妨げる要因 - UN75イニシアティブ追調査

- UN75では対話（dialogue）のトピックとしてのみ取り上げられており、定量的なデータがなかったため独自に追加した項目である。
- 25年後の世界に最も望むことを妨げる要因について、「**人々の価値観が一致していない**」(59.7%)が最も高く、次いで「**国際協力を適切に行えていない**」(51.4%)、「**必要な社会制度が整っていない**」(48.2%)、「**教育現場で教えられていない**」(28.2%)と続く。
- 多様な価値観を排除しない包括性が求められるとともに、トップダウン的な社会改革が求められていると言える。



我々の将来に影響を及ぼすと思うもの - UN75イニシアティブ追調査

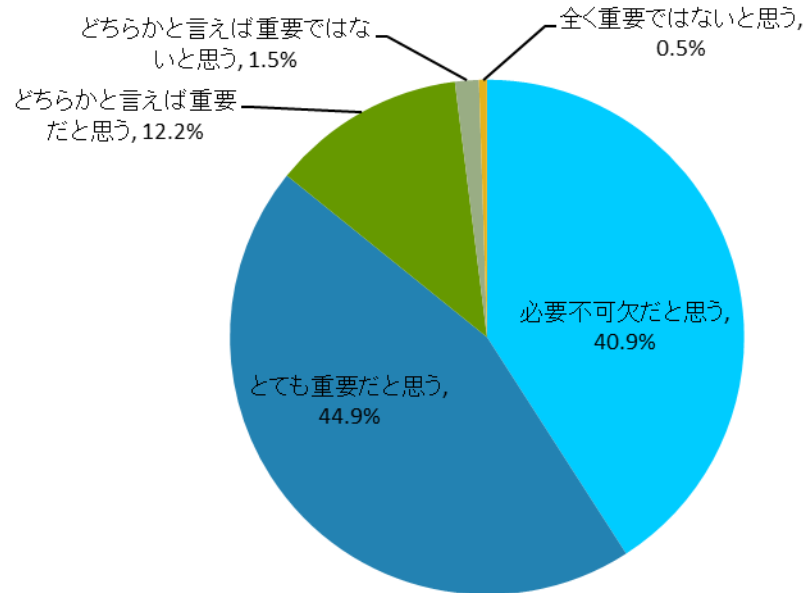
- 我々の将来に影響を及ぼすと思うものについて、「**気候変動と環境問題**」(61.8%)が最も高い。次いで「**核兵器やほかの大量破壊兵器**」(35.9%)、「**サイバー攻撃や新しい形態の兵器**」(27.2%)、「**武装対立や政治的な暴力**」(26.5%)と続く。
- 男性年代別でみると、20代後半から30代は「新しいテクノロジー/技術から生じる危機」の割合が全体よりも高い。
- 女性年代別でみると、20代前半は「健康上の危機」、30代前半および60代前半は「気候変動と環境問題」の割合が全体よりも高い。
- 男女とも60代後半は「国際関係の崩壊」の割合が全体よりも高い。(Appendix 3)
- 新型コロナウイルスの影響が収まらない中であるにもかかわらず、「健康上の危機」の割合は9.5%にとどまる。



世界各国の協調による社会課題解決の重要性 - UN75イニシアティブ追調査

- 世界各国が協調して一緒に対策に取り組むことの重要性については、**98.0%が「必要である」と回答した**。
- その内「必要不可欠だと思う」は40.9%、「とても重要だと思う」は44.9%、「どちらかと言えば重要だと思う」は12.2%であった。
- UN75で実施された調査では東アジア＆東南アジアの回答のうち66%が「必要不可欠だと思う」と回答しており、調査間の比較においては度合いが低い結果であると言える。

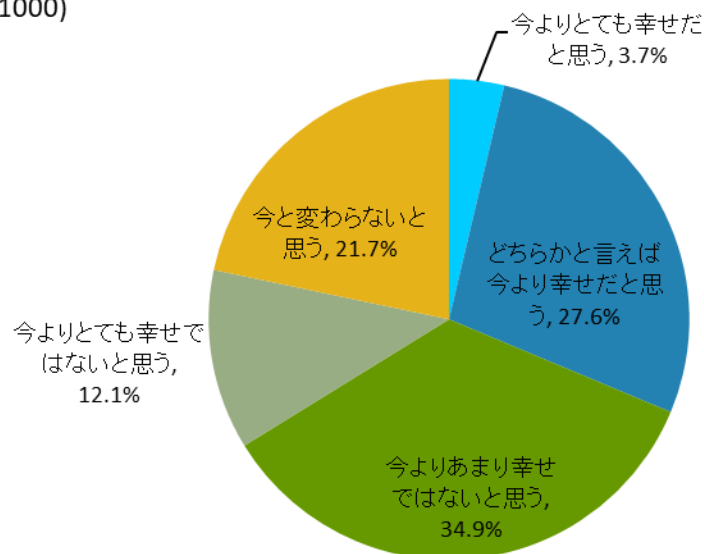
【Q9】 以下の項目に対し、世界各国が、協調して一緒に対策に取り組むことの重要性について、あなたの考えにあてはまるものをお答えください。（お答えは1つ）
(N=1000)



25年後の世界の幸福予想 - UN75イニシアティブ追調査

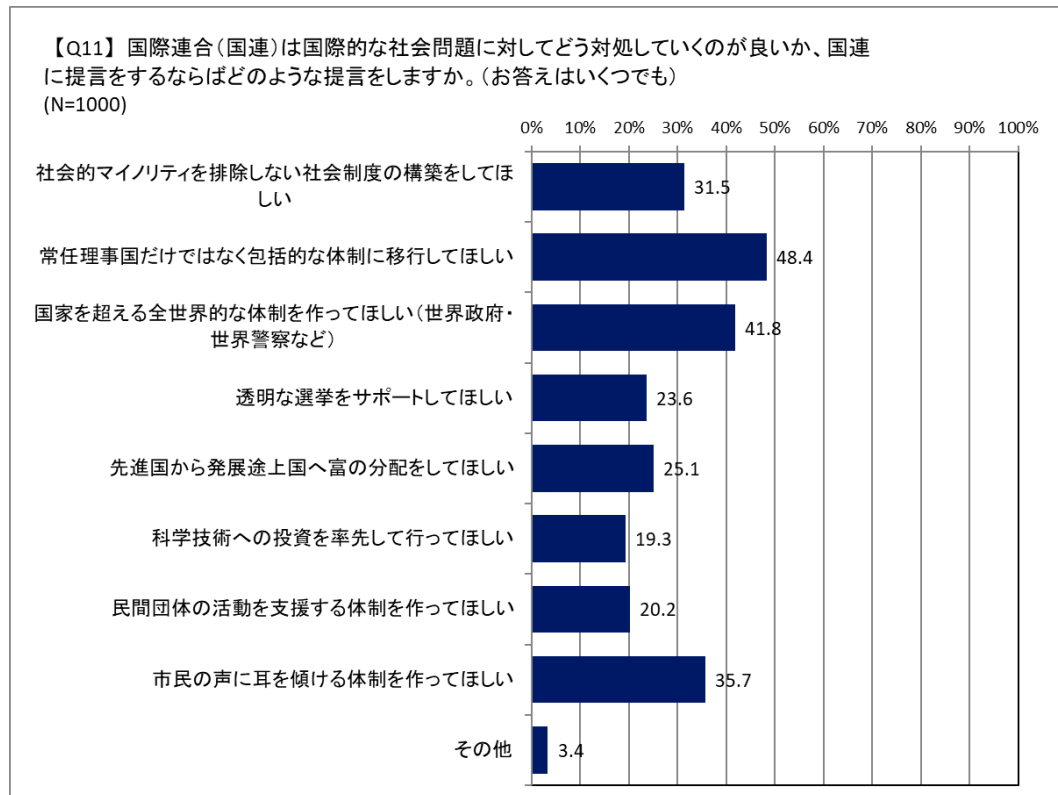
- 25年後の世界の幸福予想については、「今よりとても幸せだと思う」は3.7%、「どちらかと言えば今より幸せだと思う」(27.6%)を合計すると31.3%である。
- 他方、「今よりあまり幸せではないと思う」(34.9%)、「今よりとても幸せではないと思う」(12.1%)という結果から、**約5割は将来に対して悲観的**であると言える。
- 20代男女は「今より幸せだと思う」の割合が全体よりも高く、50代（特に男性）は「今より幸せではないと思う」の割合が全体よりも高い。(Appendix4)

【Q10】 全体として、25年後の世界では人々はより幸せだと思いますか。より不幸せだと思いますか。あるいは今と同じ程度だと思いますか。(お答えは1つ)
(N=1000)



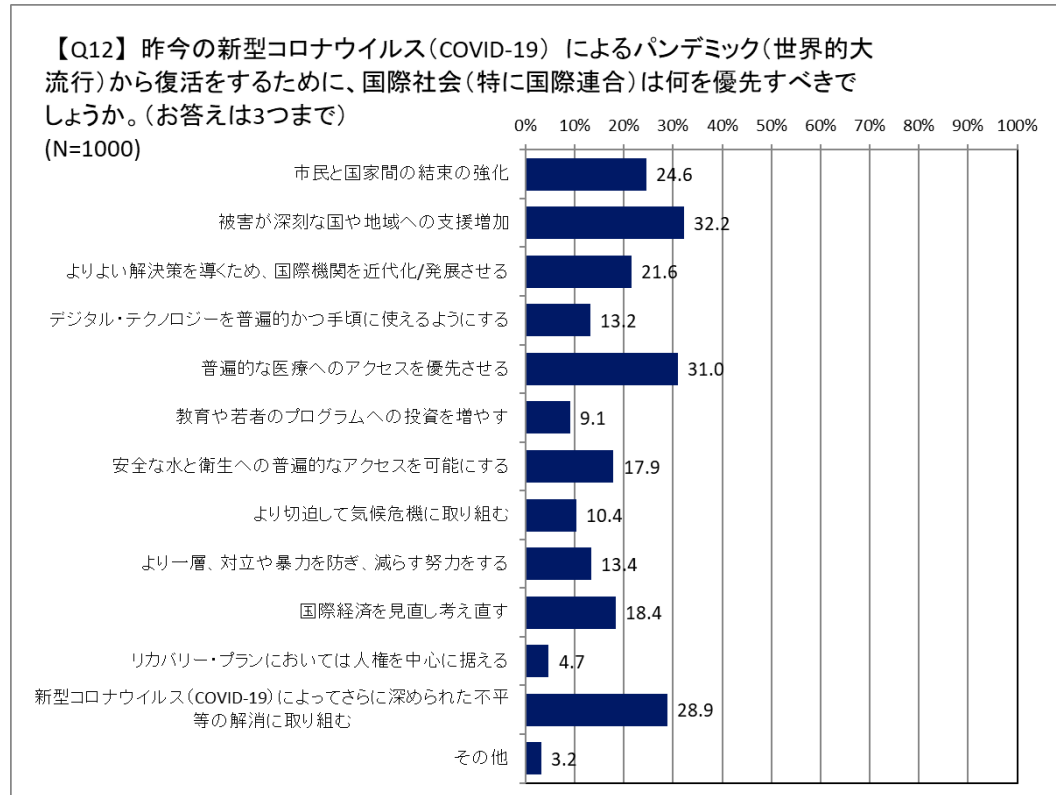
国際的な社会問題に対する対処法への提言 - UN75イニシアティブ追調査

- UN75では定量的なデータがなかったため独自に追加した項目である。
- 国際連合は国際的な社会問題に対してどう対処していくのが良いかについて、**48.4%**が「**常任理事国だけではなく包括的な体制に移行してほしい**」と回答した。次いで「**国家を超える全世界的な体制を作してほしい(世界政府・世界警察など)**」(**41.8%**)、「**市民の声に耳を傾ける体制を作してほしい**」(**35.7%**)、「**社会的マイノリティを排除しない社会制度の構築をしてほしい**」(**31.5%**)と続く。



パンデミックからの復活の為に優先すべきこと - UN75イニシアティブ追調査

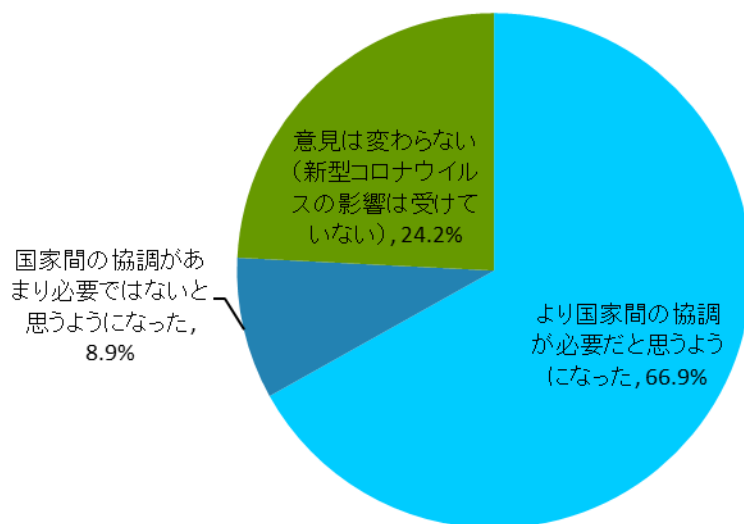
- コロナによるパンデミックから復活するために、国際社会は何を優先すべきかについては、「被害が深刻な国や地域への支援増加」(32.2%)が最も高い。次いで「普遍的な医療へのアクセスを優先させる」(31.0%)、「新型コロナウイルス(COVID-19)によってさらに深められた不平等の解消に取り組む」(28.9%)、「市民と国家間の結束の強化」(24.6%)と続く。
- 10代と20代女性は「市民と国家間の結束の強化」の割合が全体よりも高い。(Appendix 5)



コロナ感染拡大と国家間協調 - UN75イニシアティブ追調査

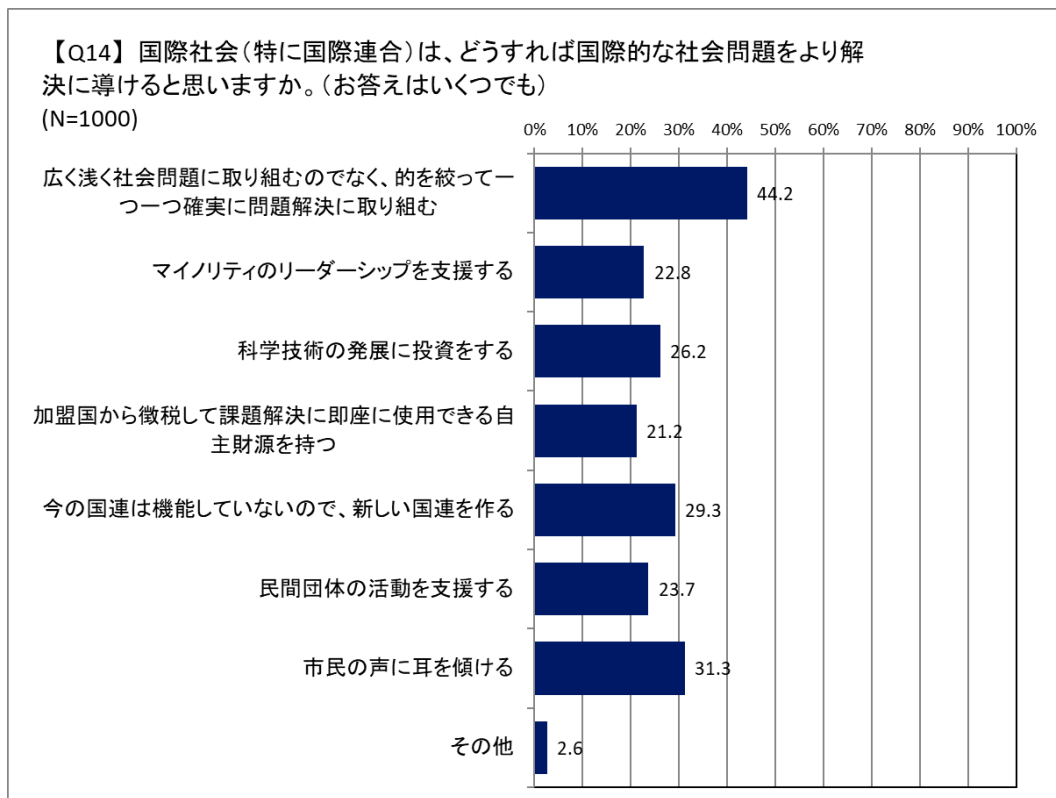
- コロナによるパンデミックは国家間の協調に関するあなたの意見に影響を与えたかについては、66.9%が「より国家間の協調が必要だと思うようになった」と回答した。
- 60代男女は「より国家間の協調が必要だと思うようになった」の割合が全体よりも高い。(Appendix 6)

【Q13】 新型コロナウイルス（COVID-19）は、国家間の協調に関するあなたの意見に影響を与えましたか。（お答えは1つ）
(N=1000)



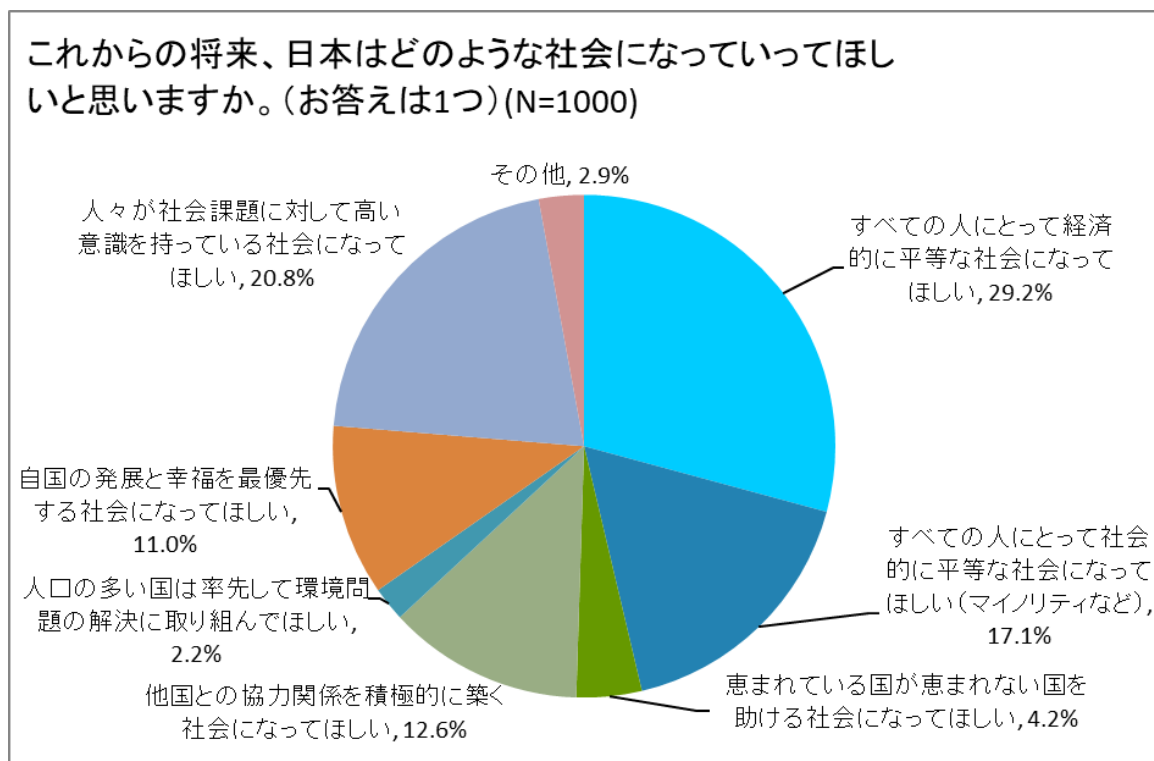
国際的な社会問題解決に向けた提言

- 国際社会は、どうすれば国際的な社会問題をより解決に導けると思うかについて最も高いのは、「広く浅く社会問題に取り組むのではなく、的を絞って一つ一つ確実に問題解決に取り組む」(44.2%)である。
- 次いで「**市民の声に耳を傾ける**」(31.3%)、「**新しい国連を作る**」(29.3%)、「科学技術の発展に投資をする」(26.2%)と続く。



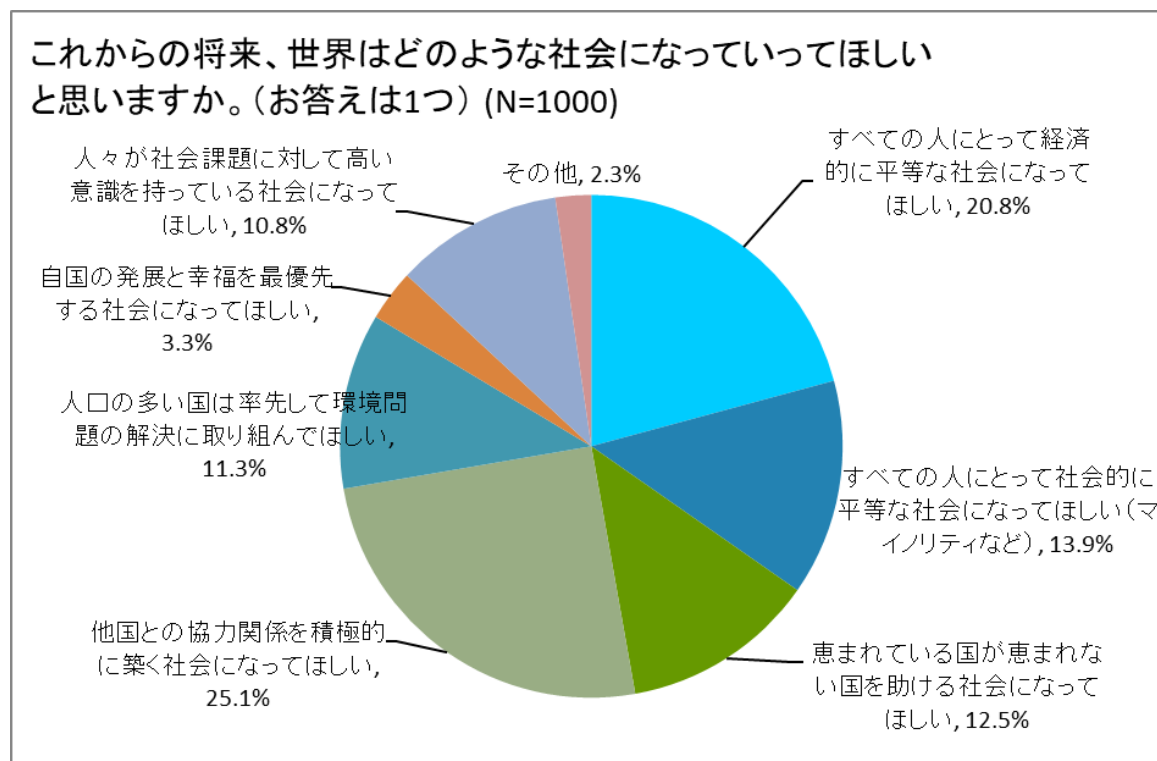
将来の日本に望む社会像

- 将来、日本になって欲しい社会について最も高いのは、「**すべての人にとって経済的に平等な社会になってほしい**」(29.2%)である。
- 次いで「**人々が社会課題に対して高い意識を持っている社会になってほしい**」(20.8%)、「**すべての人にとって社会的に平等な社会になってほしい(マイノリティなど)**」(17.1%)、「**他国との協力関係を積極的に築く社会になってほしい**」(12.6%)と続く。
- 50代後半および60代男女は「人々が社会課題に対して高い意識を持っている社会になってほしい」の割合が全体よりも高い。
- 「すべての人にとって社会的に平等な社会になってほしい(マイノリティなど)」は10代女性に多い。(Appendix 7)
- 社会的平等よりも経済的平等を重視する傾向にあるが、コロナによる不況という状況も背景事情として挙げられる。



将来の世界に望む社会像

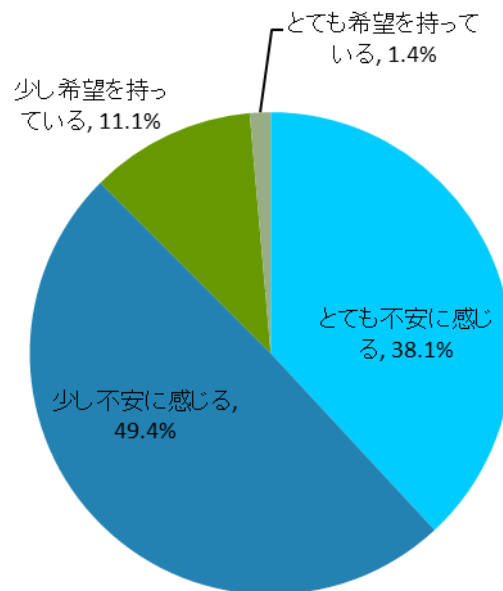
- 将来、世界になって欲しい社会について最も高いのは、「他国との協力関係を積極的に築く社会になってほしい」(25.1%)である。
- 次いで「すべての人にとって経済的に平等な社会になってほしい」(20.8%)、「すべての人にとって社会的に平等な社会になってほしい(マイノリティなど)」(13.9%)、「恵まれている国が恵まれない国を助ける社会になってほしい」(12.5%)と続く。
- 30代から40代男性は「すべての人にとって経済的に平等な社会になってほしい」が最も高い。
- 20代前半の女性は「すべての人にとって経済的に平等な社会になってほしい」、40代前半の女性は「人口の多い国は率先して環境問題の解決に取り組んでほしい」が最も高い。(Appendix 8)



10年後の日本社会に対する不安感

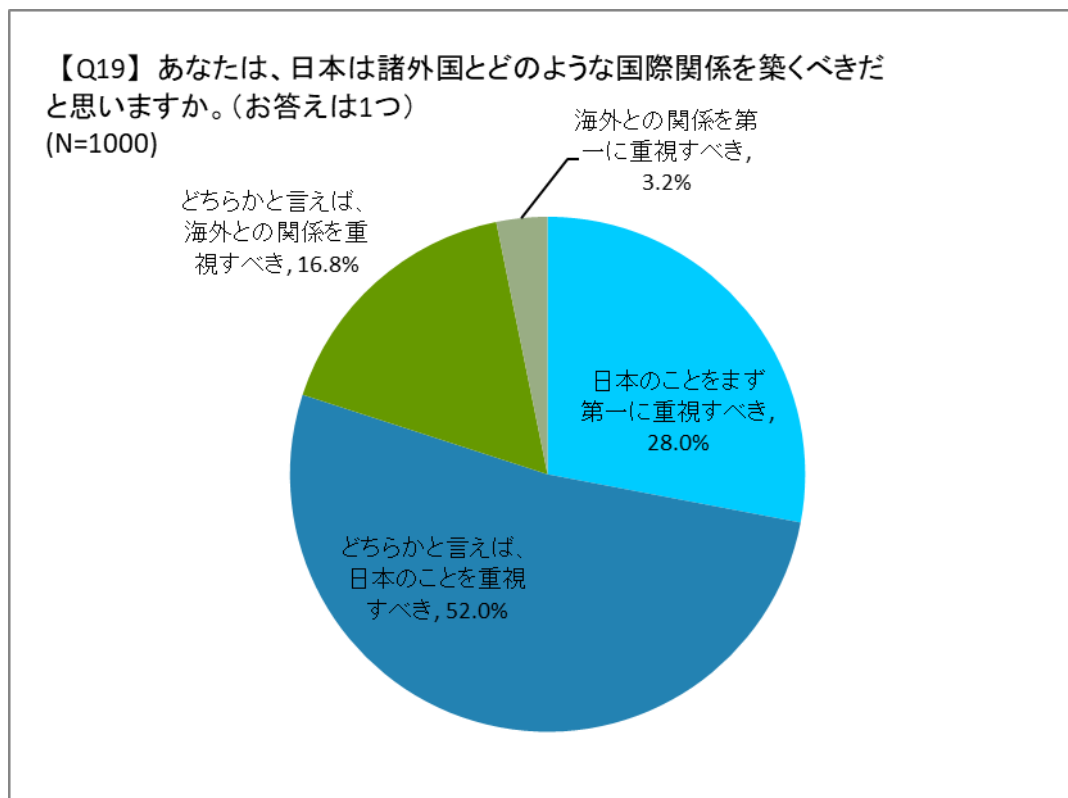
- 約9割が10年後の日本社会に「不安を感じる」と回答した。
- 10代男性で「不安を感じる」割合が全体よりも高い。
- 他方、20代前半並びに40代前半の男性で「希望を持っている」との回答が比較的高い。(Appendix 9)

【Q17】 10年後の日本を想像してみてください。10年後の日本社会に対して、不安を感じますか。または希望を持ちますか。(お答えは1つ)
(N=1000)



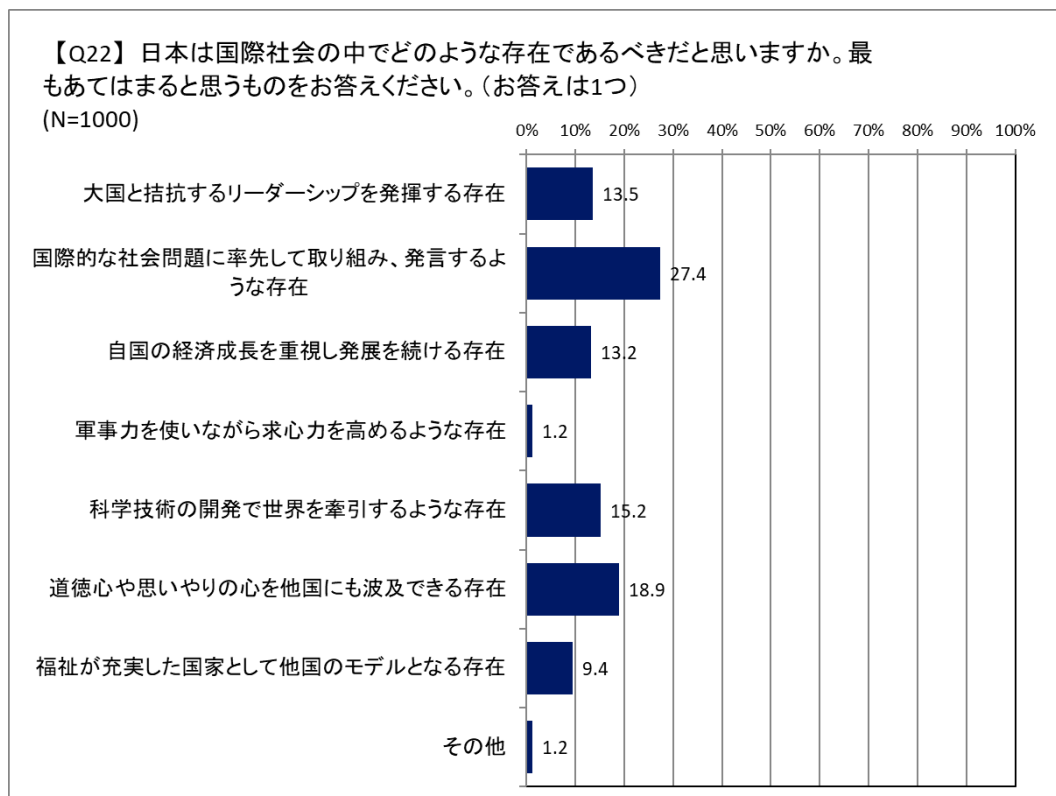
日本の諸外国との国際関係

- 日本は諸外国とどのような国際関係を築くべきかについては、**80.0%**が「海外との関係よりも日本国内のことを優先すべき」と回答した。
- 20代後半の女性は「日本のことを重視すべき」の割合が全体よりも高い。
- 他方、60代後半の男女で「海外との関係を重視すべき」の割合が全体よりも高い。（Appendix 10）



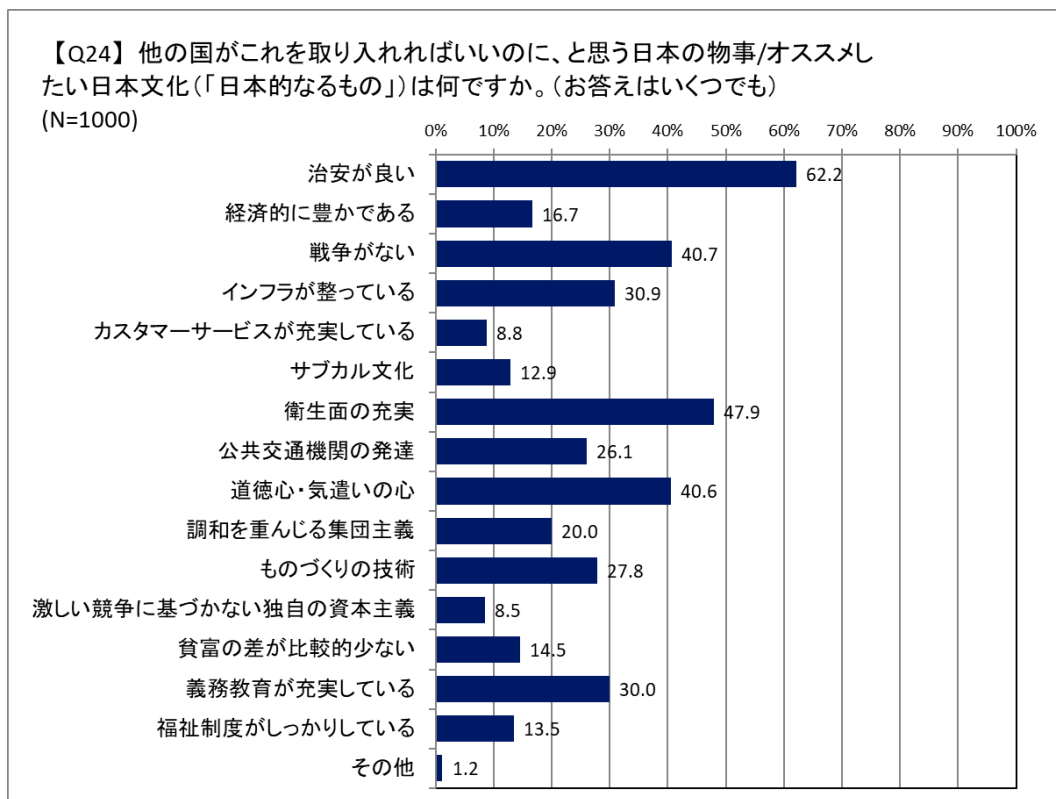
国際社会における日本の在り方

- 国際社会の中における理想とする日本の在り方については、27.4%が「**国際的な社会問題に率先して取り組み、発言するような存在**」と回答し最も高い。
- 次いで「**道徳心や思いやりの心を他国にも波及できる存在**」(18.9%)、「**科学技術の開発で世界を牽引するような存在**」(15.2%)、「**大国と拮抗するリーダーシップを発揮する存在**」(13.5%)と続く。
- 優秀なリーダーの擁立、また、そのようなリーダーとなる人材の育成が期待されている。



他の国に波及したい日本の物事・文化

- 他の国に取り入れて欲しい日本の物事・文化について最も高いのは、「治安が良い」(62.2%)である。
- 次いで「衛生面の充実」(47.9%)、「戦争がない」(40.7%)、「道徳心・気遣いの心」(40.6%)と続く。
- 10代男女は「サブカル文化」、50代並びに60代男女は「道徳心・気遣いの心」の割合が全体よりも高い。(Appendix 11)

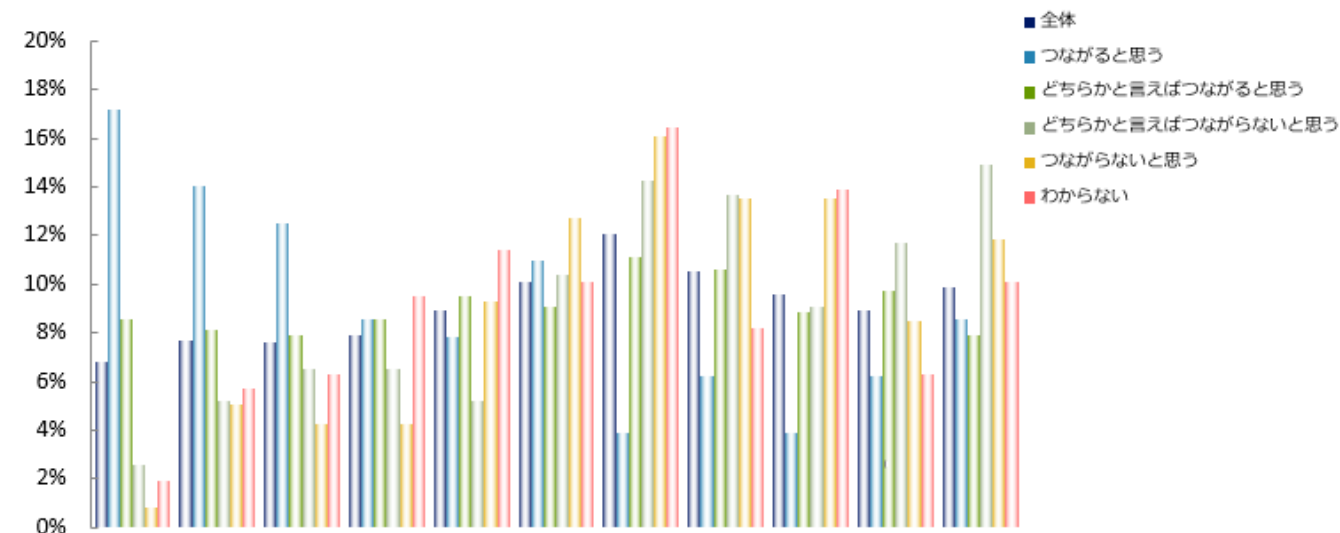


総括

- 新型コロナウイルス感染拡大が止まらない現時点（2021年4月）において、経済的・社会的不安感も増す中、多くの人が将来を悲観的に捉えている。
- また、国際協調がますます重視される一方で、現存の全世界的な機構の在り方を見直す必要があるという意見が一定数存在することが明示された。
- 今後、当研究所として、具体的にどのような世界システムが望まれているのかについて更に調査をすすめ、国際社会における我が国の目指すべき在り方を検討しながら、人々の社会問題への取り組みを活性化させて参りたい。
- さらに、調査により得られた定量的なデータをもとに、しかるべき組織に提言していくことにより希望にあふれる社会を形成していく所存である。

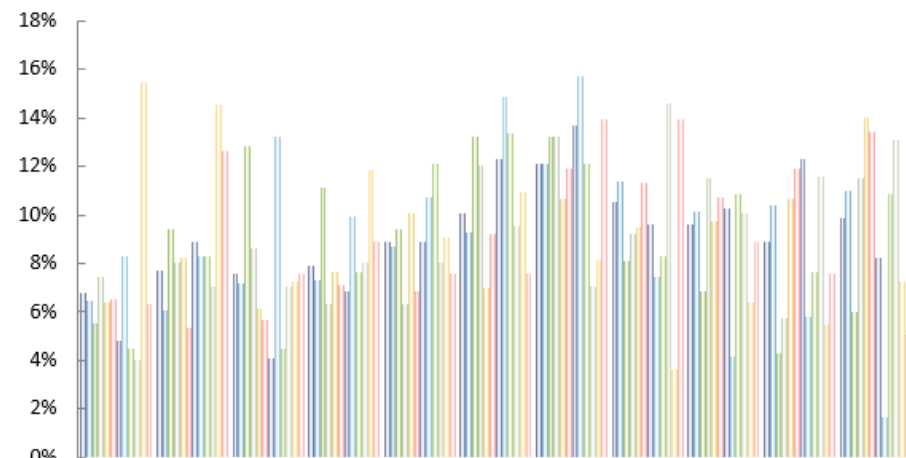
Appendix 1

【年代別】SDGsの促進が国際課題解決につながると思うか。



	全体	16-19 歳	20-24 歳	25-29 歳	30-34 歳	35-39 歳	40-44 歳	45-49 歳	50-54 歳	55-59 歳	60-64 歳	65-69 歳
全体	(1000)	6.8	7.7	7.6	7.9	8.9	10.1	12.1	10.5	9.6	8.9	9.9
全 体	つながると思う	(128)	17.2	14.1	12.5	8.6	7.8	10.9	3.9	6.3	3.9	6.3
	どちらかと言えばつながると思う	(442)	8.6	8.1	7.9	8.6	9.5	9.0	11.1	10.6	8.8	9.7
	どちらかと言えばつながらないと思う	(154)	2.6	5.2	6.5	6.5	5.2	10.4	14.3	13.6	9.1	11.7
	つながらないと思う	(118)	0.8	5.1	4.2	4.2	9.3	12.7	16.1	13.6	13.6	8.5
	わからない	(158)	1.9	5.7	6.3	9.5	11.4	10.1	16.5	8.2	13.9	6.3

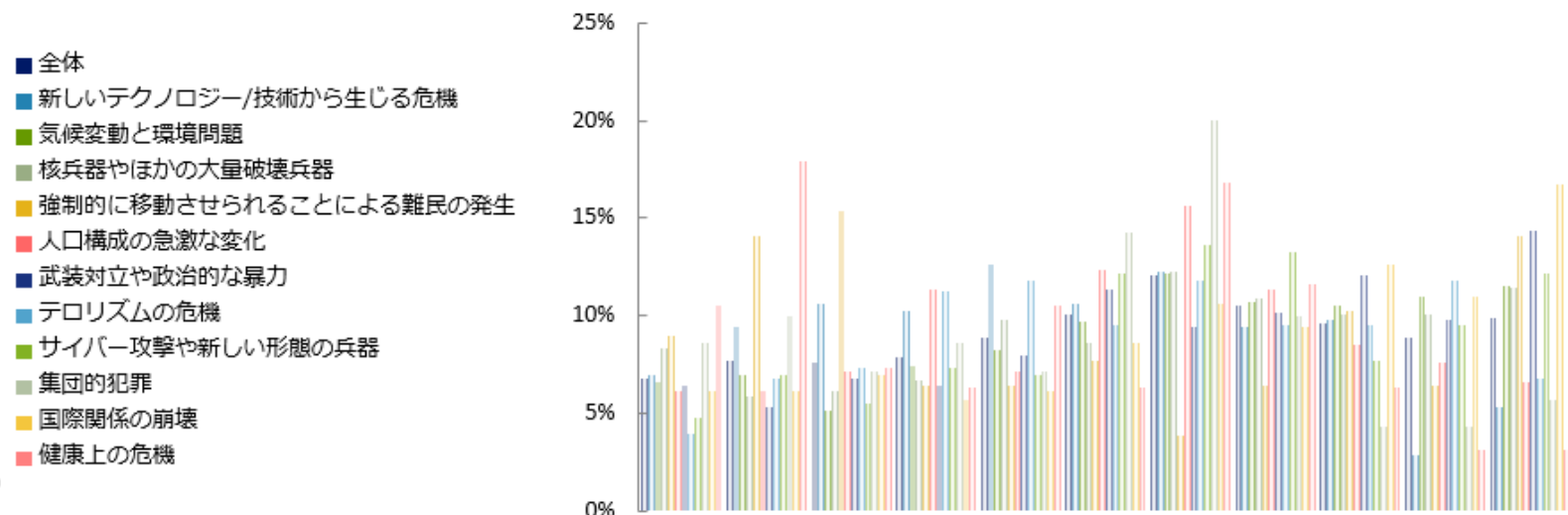
- 全体
- 戦争・対立が少ないこと
- 国内の不平等がより解消されていること
- 国家間の不平等がより解消されていること
- 人権がより尊重されていること
- 環境がより保護されていること
- より持続的な消費と生産が実現されていること
- より多くの雇用機会があること
- 教育を受ける機会がより広がっていること/誰でも簡単に教育を受けられること
- 医療を受ける機会がより広がっていること/誰でも簡単に医療を受けられること
- 男女間の不平等が解消されていること
- 国を越えた移動がよりうまく管理されていること



	全体	16-19 歳	20-24 歳	25-29 歳	30-34 歳	35-39 歳	40-44 歳	45-49 歳	50-54 歳	55-59 歳	60-64 歳	65-69 歳
全体	(1000)	6.8	7.7	7.6	7.9	8.9	10.1	12.1	10.5	9.6	8.9	9.9
戦争・対立が少ないこと	(711)	6.5	6.0	7.2	7.3	8.7	9.3	12.1	11.4	10.1	10.4	11.0
国内の不平等がより解消されていること	(234)	5.6	9.4	12.8	11.1	9.4	13.2	13.2	8.1	6.8	4.3	6.0
国家間の不平等がより解消されていること	(174)	7.5	8.0	8.6	6.3	6.3	12.1	13.2	9.2	11.5	5.7	11.5
人権がより尊重されていること	(328)	6.4	8.2	6.1	7.6	10.1	7.0	10.7	9.5	9.8	10.7	14.0
環境がより保護されていること	(336)	6.5	5.4	5.7	7.1	6.8	9.2	11.9	11.3	10.7	11.9	13.4
より持続的な消費と生産が実現されていること	(146)	4.8	8.9	4.1	6.8	8.9	12.3	13.7	9.6	10.3	12.3	8.2
より多くの雇用機会があること	(121)	8.3	8.3	13.2	9.9	10.7	14.9	15.7	7.4	4.1	5.8	1.7
教育を受ける機会がより広がっていること/誰でも簡単に教育を受けられること	(157)	4.5	8.3	4.5	7.6	12.1	13.4	12.1	8.3	10.8	7.6	10.8
医療を受ける機会がより広がっていること/誰でも簡単に医療を受けられること	(199)	4.0	7.0	7.0	8.0	8.0	9.5	7.0	14.6	10.1	11.6	13.1
男女間の不平等が解消されていること	(110)	15.5	14.5	7.3	11.8	9.1	10.9	8.2	3.6	6.4	5.5	7.3
国を越えた移動がよりうまく管理されていること	(79)	6.3	12.7	7.6	8.9	7.6	7.6	13.9	13.9	8.9	7.6	5.1
その他	(19)	5.3	-	-	-	-	5.3	21.1	26.3	31.6	10.5	-

Appendix 3

【年代別】我々の将来に影響を及ぼすと思うもの

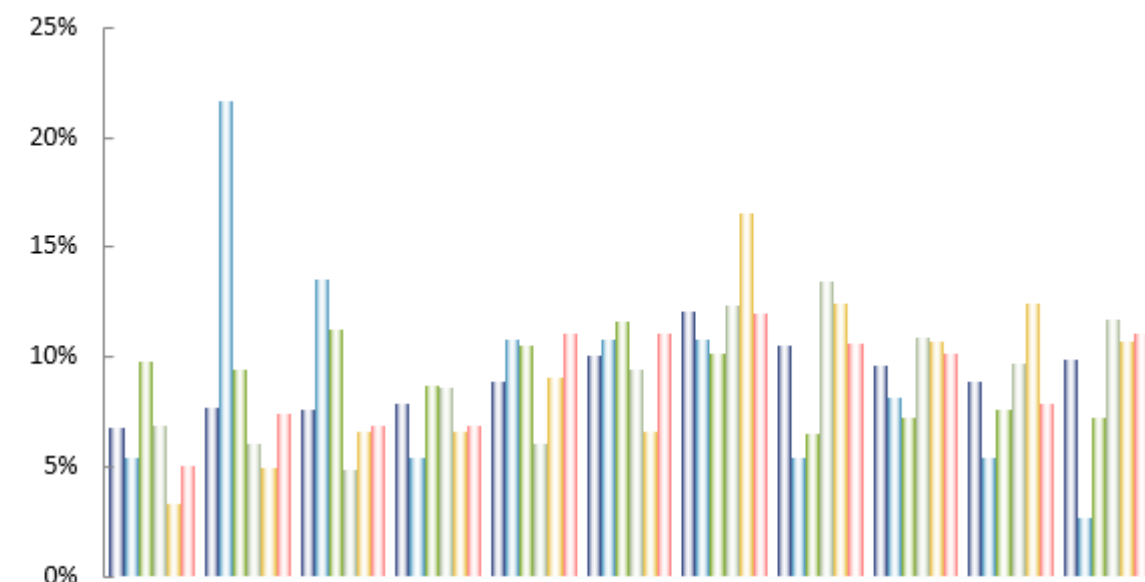


		全体	16-19 歳	20-24 歳	25-29 歳	30-34 歳	35-39 歳	40-44 歳	45-49 歳	50-54 歳	55-59 歳	60-64 歳	65-69 歳
全 体	全体	(1000)	6.8	7.7	7.6	7.9	8.9	10.1	12.1	10.5	9.6	8.9	9.9
	新しいテクノロジー/技術から生じる危機	(245)	6.9	9.4	10.6	10.2	12.7	10.6	12.2	9.4	9.8	2.9	5.3
	気候変動と環境問題	(618)	6.6	7.0	5.2	7.4	8.3	9.7	12.1	10.7	10.5	11.0	11.5
	核兵器やほかの大量破壊兵器	(359)	8.4	5.8	6.1	6.7	9.7	8.6	12.3	10.9	10.0	10.0	11.4
	強制的に移動させられることによる難民の発生	(78)	9.0	14.1	15.4	6.4	6.4	7.7	3.8	6.4	10.3	6.4	14.1
	人口構成の急激な変化	(211)	6.2	6.2	7.1	11.4	7.1	12.3	15.6	11.4	8.5	7.6	6.6
	武装対立や政治的な暴力	(265)	6.4	5.3	6.8	6.4	7.9	11.3	9.4	10.2	12.1	9.8	14.3
	テロリズムの危機	(178)	3.9	6.7	7.3	11.2	11.8	9.6	11.8	9.6	9.6	11.8	6.7
	サイバー攻撃や新しい形態の兵器	(272)	4.8	7.0	5.5	7.4	7.0	12.1	13.6	13.2	7.7	9.6	12.1
	集団的犯罪	(70)	8.6	10.0	7.1	8.6	7.1	14.3	20.0	10.0	4.3	4.3	5.7
	国際関係の崩壊	(245)	6.1	6.1	6.9	5.7	6.1	8.6	10.6	9.4	12.7	11.0	16.7
	健康上の危機	(95)	10.5	17.9	7.4	6.3	10.5	6.3	16.8	11.6	6.3	3.2	3.2
	その他	(8)	-	-	-	12.5	-	-	25.0	37.5	12.5	12.5	-

Appendix 4

【年代別】25年後の幸福予想

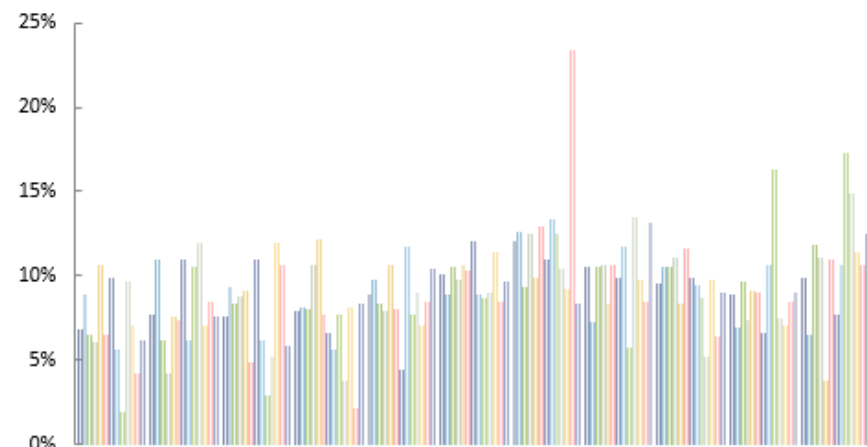
- 全体
- 今よりとても幸せだと思う
- どちらかと言えば今より幸せだと思う
- 今よりあまり幸せではないと思う
- 今よりとても幸せではないと思う
- 今と変わらないと思う



		全体	16-19 歳	20-24 歳	25-29 歳	30-34 歳	35-39 歳	40-44 歳	45-49 歳	50-54 歳	55-59 歳	60-64 歳	65-69 歳
全体		(1000)	6.8	7.7	7.6	7.9	8.9	10.1	12.1	10.5	9.6	8.9	9.9
全 体	今よりとても幸せだと思う	(37)	5.4	21.6	13.5	5.4	10.8	10.8	10.8	5.4	8.1	5.4	2.7
	どちらかと言えば今より幸せだと思う	(276)	9.8	9.4	11.2	8.7	10.5	11.6	10.1	6.5	7.2	7.6	7.2
	今よりあまり幸せではないと思う	(349)	6.9	6.0	4.9	8.6	6.0	9.5	12.3	13.5	10.9	9.7	11.7
	今よりとても幸せではないと思う	(121)	3.3	5.0	6.6	6.6	9.1	6.6	16.5	12.4	10.7	12.4	10.7
	今と変わらないと思う	(217)	5.1	7.4	6.9	6.9	11.1	11.1	12.0	10.6	10.1	7.8	11.1

【年代別】パンデミックからの復活の為に優先すべきこと

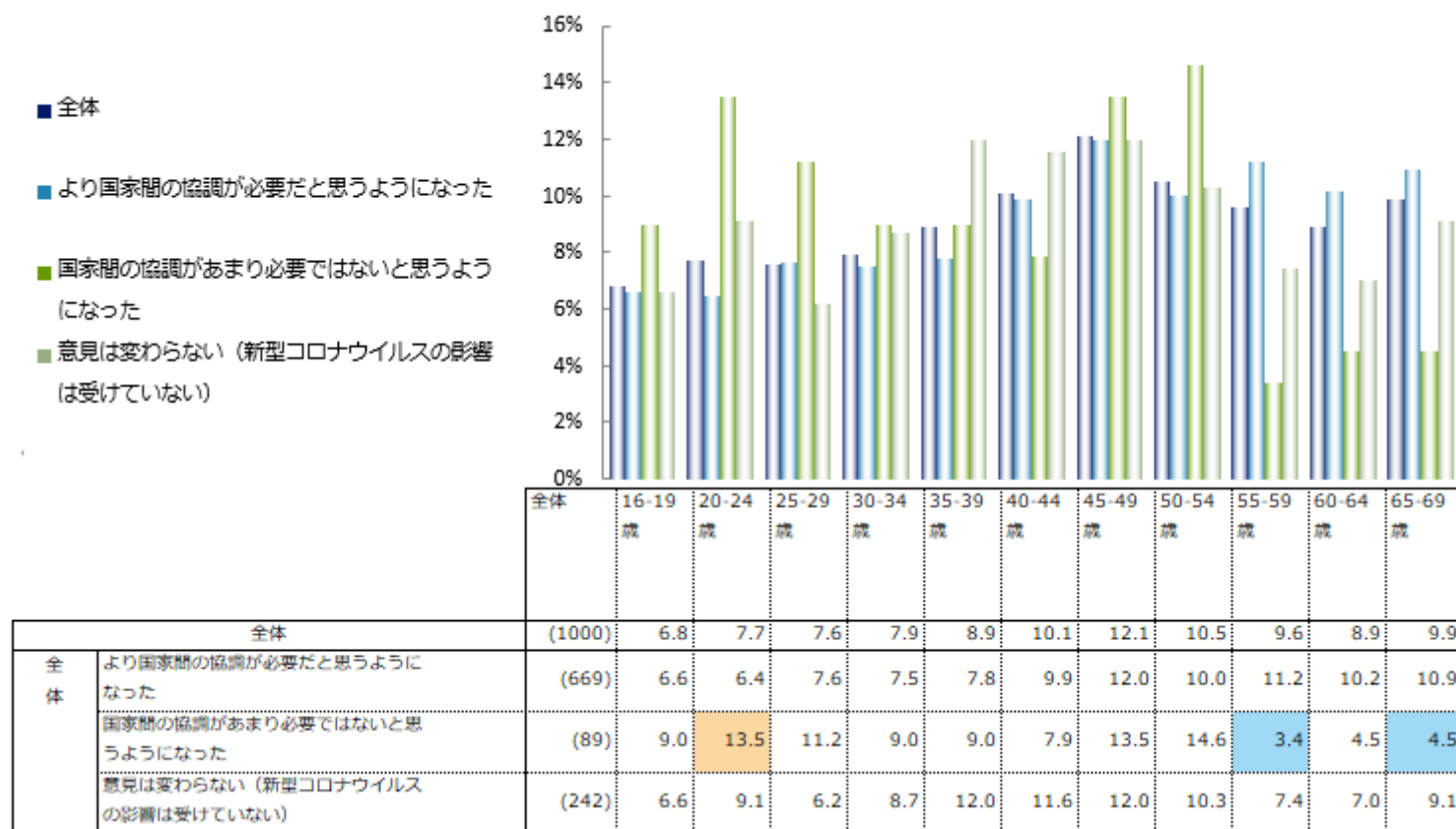
- 全体
- 市民と国家間の結束の強化
- 被害が深刻な国や地域への支援増加
- よりよい解決策を導くため、国際機関を近代化/発展させる
- デジタル・テクノロジーを普遍的かつ手頃に使えるようにする
- 普遍的な医療へのアクセスを優先させる
- 教育や若者のプログラムへの投資を増やす
- 安全な水と衛生への普遍的なアクセスを可能にする
- より切迫して気候危機に取り組む
- より一層、対立や暴力を防ぎ、減らす努力をする
- 国際経済を見直し考え直す
- リカバリー・プランにおいては人権を中心に据える
- 新型コロナウイルス（COVID-19）によってさらに深められた不平等の解消に取り組む



	全体	16-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳
全体	(1000)	6.8	7.7	7.6	7.9	8.9	10.1	12.1	10.5	9.6	8.9	9.9
市民と国家間の結束の強化	(246)	8.9	11.0	9.3	8.1	9.8	8.9	12.6	7.3	10.6	6.9	6.5
被害が深刻な国や地域への支援増加	(322)	6.5	6.2	8.4	8.1	8.4	10.6	9.3	10.6	10.6	9.6	11.8
よりよい解決策を導くため、国際機関を近代化/発展させる	(216)	6.0	4.2	8.8	10.6	7.9	9.7	12.5	10.6	11.1	7.4	11.1
デジタル・テクノロジーを普遍的かつ手頃に使えるようにする	(132)	10.6	7.6	9.1	12.1	10.6	10.6	9.8	8.3	8.3	9.1	3.8
普遍的な医療へのアクセスを優先させる	(310)	6.5	7.4	4.8	7.7	8.1	10.3	12.9	10.6	11.6	9.0	11.0
教育や若者のプログラムへの投資を増やす	(91)	9.9	11.0	11.0	6.6	4.4	12.1	11.0	9.9	9.9	6.6	7.7
安全な水と衛生への普遍的なアクセスを可能にする	(179)	5.6	6.1	6.1	5.6	11.7	8.9	13.4	11.7	9.5	10.6	10.6
より切迫して気候危機に取り組む	(104)	1.9	10.6	2.9	7.7	7.7	8.7	12.5	5.8	8.7	16.3	17.3
より一層、対立や暴力を防ぎ、減らす努力をする	(134)	9.7	11.9	5.2	3.7	9.0	9.0	10.4	13.4	5.2	7.5	14.9
国際経済を見直し考え直す	(184)	7.1	7.1	12.0	8.2	7.1	11.4	9.2	9.8	9.8	7.1	11.4
リカバリー・プランにおいては人権を中心に据える	(47)	4.3	8.5	10.6	2.1	8.5	8.5	23.4	8.5	6.4	8.5	10.6
新型コロナウイルス（COVID-19）によってさらに深められた不平等の解消に取り組む	(289)	6.2	7.6	5.9	8.3	10.4	9.7	8.3	13.1	9.0	9.0	12.5
その他	(32)	-	3.1	3.1	6.3	-	9.4	28.1	18.8	9.4	9.4	12.5

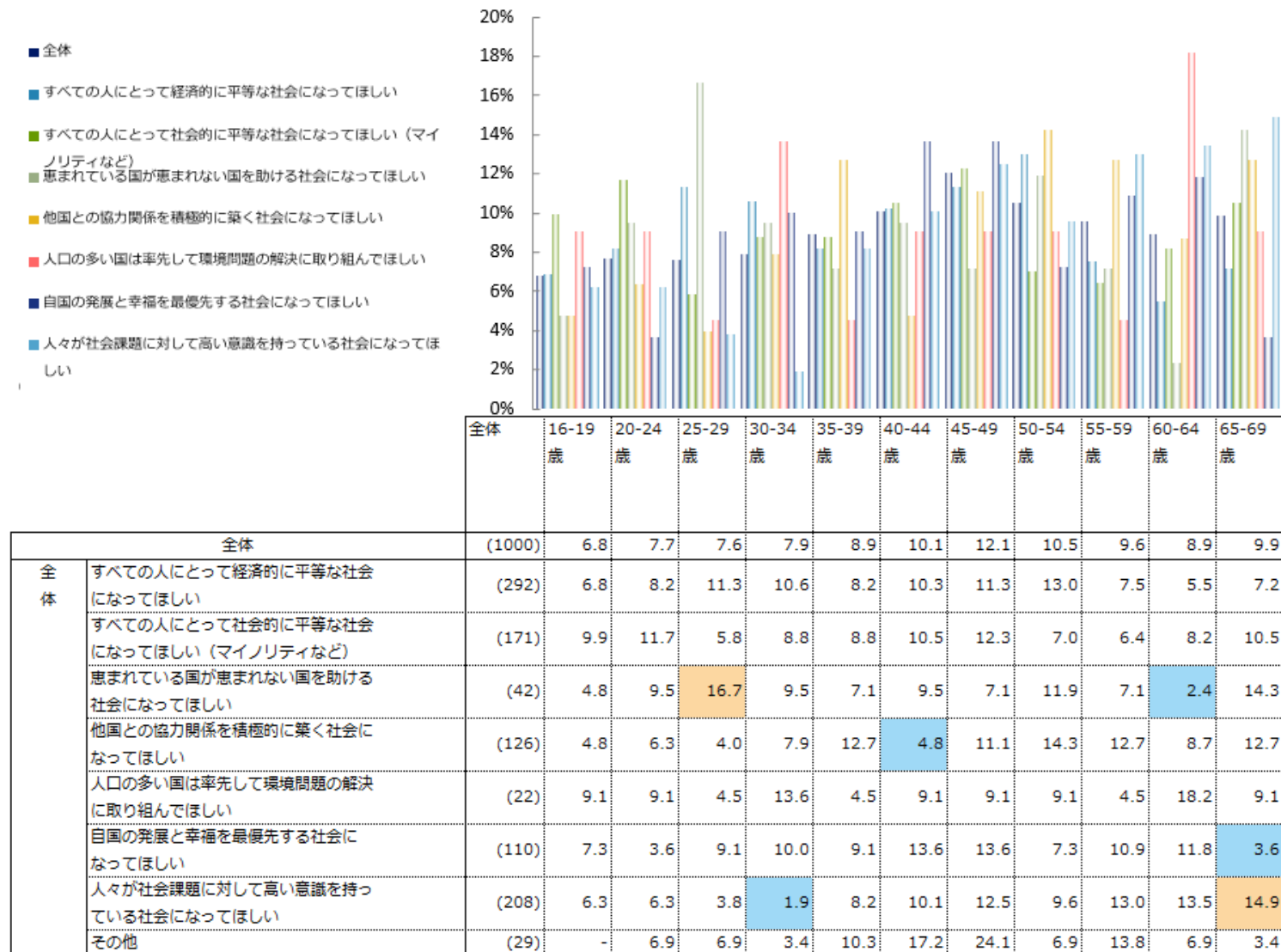
Appendix 6

【年代別】コロナ感染拡大と国家協調



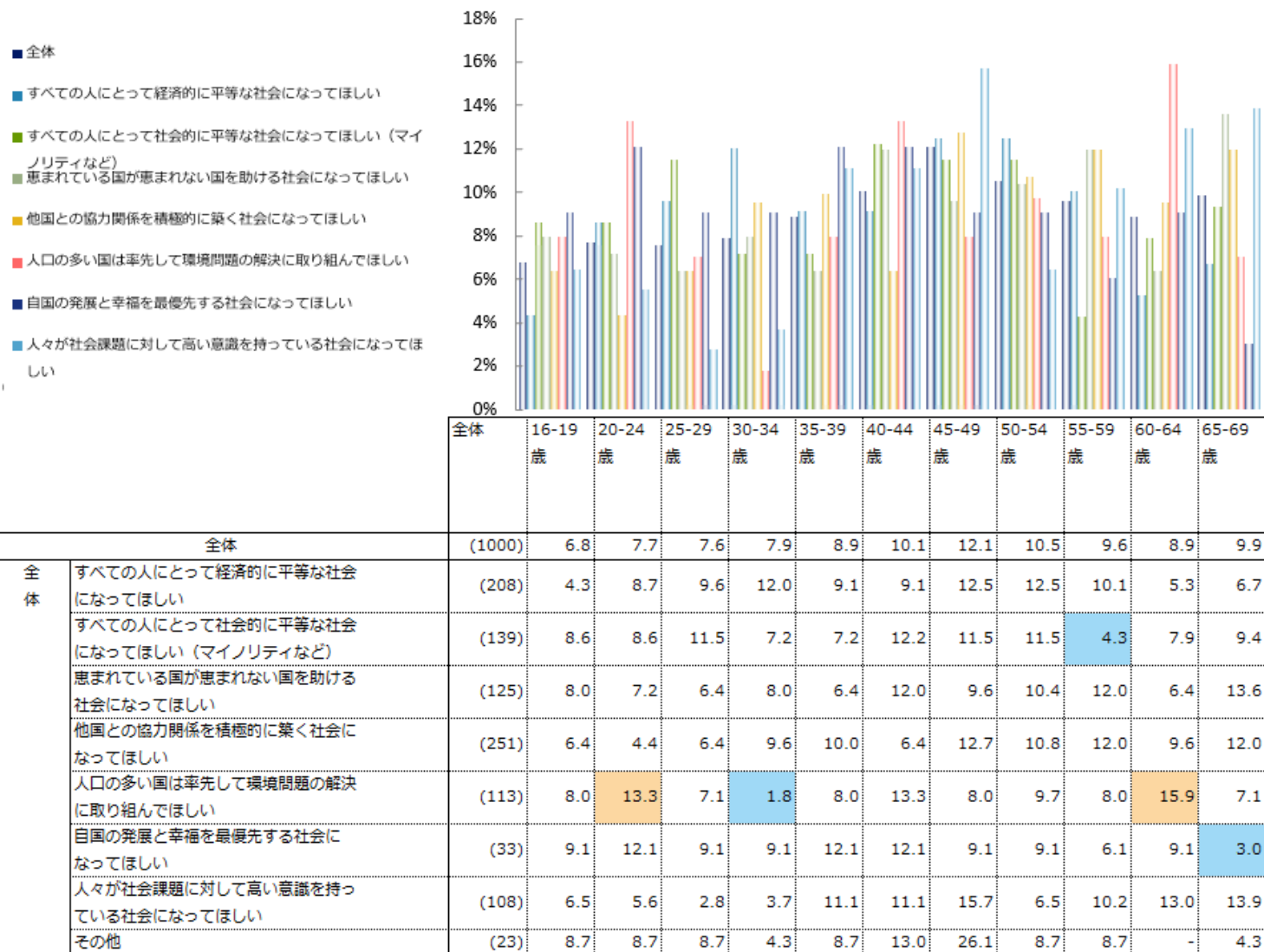
Appendix 7

【年代別】将来の日本に望む社会像



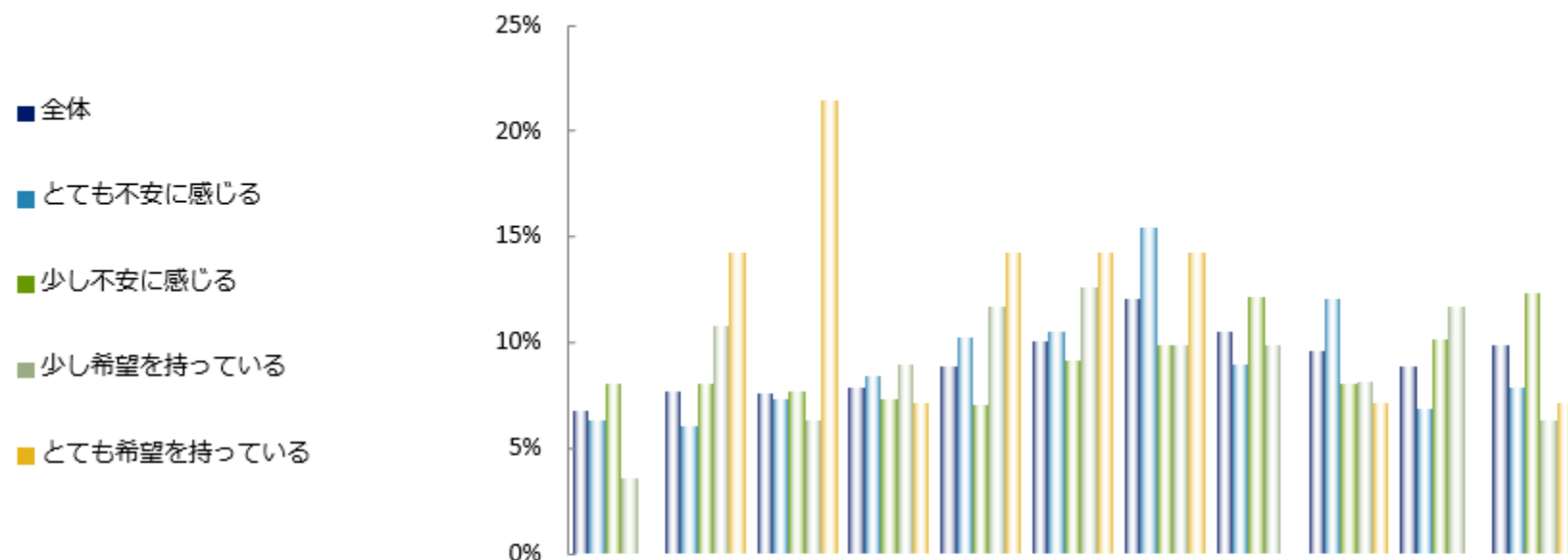
Appendix 8

【年代別】将来の世界に望む社会像



Appendix 9

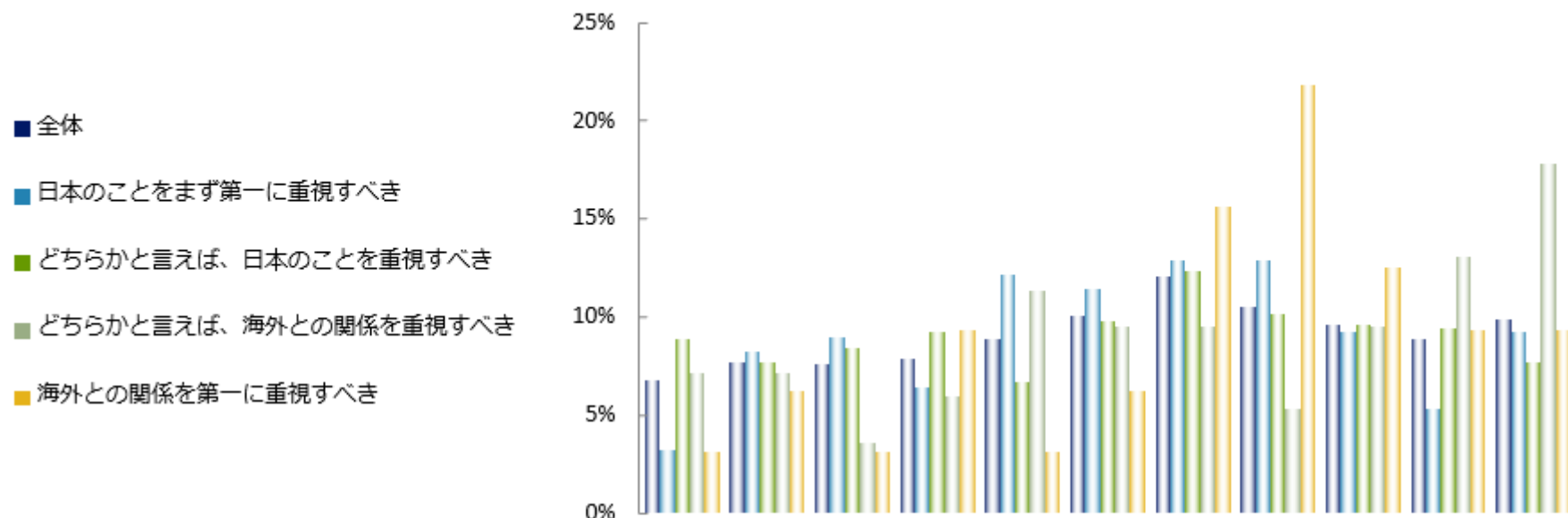
【年代別】10年後の日本社会に対する不安感



		全体	16-19 歳	20-24 歳	25-29 歳	30-34 歳	35-39 歳	40-44 歳	45-49 歳	50-54 歳	55-59 歳	60-64 歳	65-69 歳
全 体	全体	(1000)	6.8	7.7	7.6	7.9	8.9	10.1	12.1	10.5	9.6	8.9	9.9
	とても不安を感じる	(381)	6.3	6.0	7.3	8.4	10.2	10.5	15.5	8.9	12.1	6.8	7.9
	少し不安を感じる	(494)	8.1	8.1	7.7	7.3	7.1	9.1	9.9	12.1	8.1	10.1	12.3
	少し希望を持っている	(111)	3.6	10.8	6.3	9.0	11.7	12.6	9.9	9.9	8.1	11.7	6.3
	とても希望を持っている	(14)	-	14.3	21.4	7.1	14.3	14.3	14.3	-	7.1	-	7.1

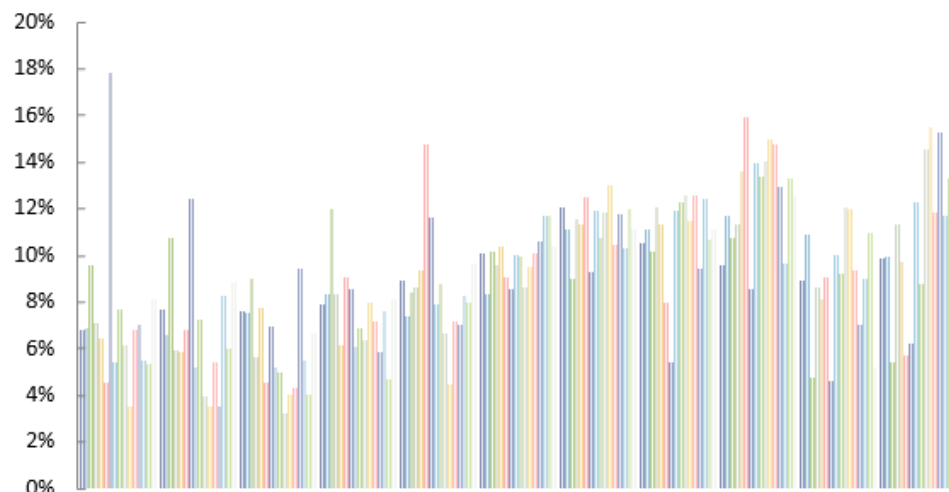
Appendix 10

【年代別】日本の諸外国との国際関係



		全体	16-19 歳	20-24 歳	25-29 歳	30-34 歳	35-39 歳	40-44 歳	45-49 歳	50-54 歳	55-59 歳	60-64 歳	65-69 歳
全 体	全体	(1000)	6.8	7.7	7.6	7.9	8.9	10.1	12.1	10.5	9.6	8.9	9.9
	日本のことをまず第一に重視すべき	(280)	3.2	8.2	8.9	6.4	12.1	11.4	12.9	12.9	9.3	5.4	9.3
	どちらかと言えば、日本のことを重視すべき	(520)	8.8	7.7	8.5	9.2	6.7	9.8	12.3	10.2	9.6	9.4	7.7
	どちらかと言えば、海外との関係を重視すべき	(168)	7.1	7.1	3.6	6.0	11.3	9.5	9.5	5.4	9.5	13.1	17.9
	海外との関係を第一に重視すべき	(32)	3.1	6.3	3.1	9.4	3.1	6.3	15.6	21.9	12.5	9.4	9.4

- 全体
- 治安が良い
- 経済的に豊かである
- 戦争がない
- インフラが整っている
- カスタマーサービスが充実している
- サブカル文化
- 衛生面の充実
- 公共交通機関の発達
- 道徳心・気遣いの心
- 調和を重んじる集団主義
- ものづくりの技術
- 激しい競争に基づかない独自の資本主義
- 貧富の差が比較的少ない
- 義務教育が充実している
- 福祉制度がしっかりしている



		全体	16-19 歳	20-24 歳	25-29 歳	30-34 歳	35-39 歳	40-44 歳	45-49 歳	50-54 歳	55-59 歳	60-64 歳	65-69 歳
全 体	全体	(1000)	6.8	7.7	7.6	7.9	8.9	10.1	12.1	10.5	9.6	8.9	9.9
	治安が良い	(622)	6.9	6.6	7.6	8.4	7.4	8.4	11.1	11.1	11.7	10.9	10.0
	経済的に豊かである	(167)	9.6	10.8	9.0	12.0	8.4	10.2	9.0	10.2	10.8	4.8	5.4
	戦争がない	(407)	7.1	5.9	5.7	8.4	8.6	9.6	11.5	12.0	11.3	8.6	11.3
	インフラが整っている	(309)	6.5	5.8	7.8	6.1	9.4	10.4	11.3	11.3	13.6	8.1	9.7
	カスタマーサービスが充実している	(88)	4.5	6.8	4.5	9.1	14.8	9.1	12.5	8.0	15.9	9.1	5.7
	サブカル文化	(129)	17.8	12.4	7.0	8.5	11.6	8.5	9.3	5.4	8.5	4.7	6.2
	衛生面の充実	(479)	5.4	5.2	5.2	6.1	7.9	10.0	11.9	11.9	14.0	10.0	12.3
	公共交通機関の発達	(261)	7.7	7.3	5.0	6.9	8.8	10.0	10.7	12.3	13.4	9.2	8.8
	道徳心・気遣いの心	(406)	6.2	3.9	3.2	6.4	6.7	8.6	11.8	12.6	14.0	12.1	14.5
	調和を重んじる集団主義	(200)	3.5	3.5	4.0	8.0	4.5	9.5	13.0	11.5	15.0	12.0	15.5
	ものづくりの技術	(278)	6.8	5.4	4.3	7.2	7.2	10.1	10.4	12.6	14.7	9.4	11.9
	激しい競争に基づかない独自の資本主義	(85)	7.1	3.5	9.4	5.9	7.1	10.6	11.8	9.4	12.9	7.1	15.3
	貧富の差が比較的少ない	(145)	5.5	8.3	5.5	7.6	8.3	11.7	10.3	12.4	9.7	9.0	11.7
	義務教育が充実している	(300)	5.3	6.0	4.0	4.7	8.0	11.7	12.0	10.7	13.3	11.0	13.3
	福祉制度がしっかりしている	(135)	8.1	8.9	6.7	8.1	9.6	10.4	11.1	11.1	12.6	5.2	8.1
その他		(12)	8.3	-	-	8.3	-	8.3	25.0	33.3	-	8.3	8.3